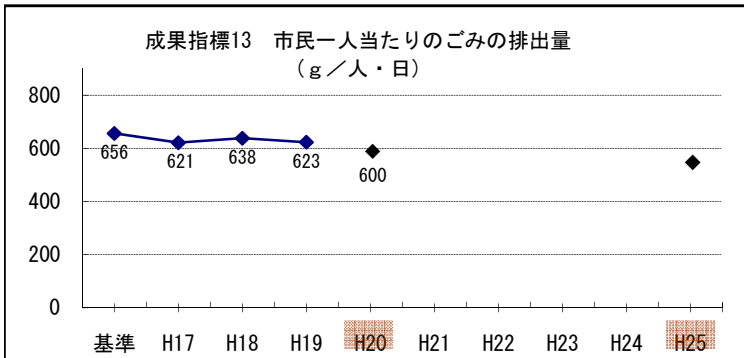


柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	I リデュース・リユース
ビジョン	買う人・売る人・作る人 いつも心に“もったいない”

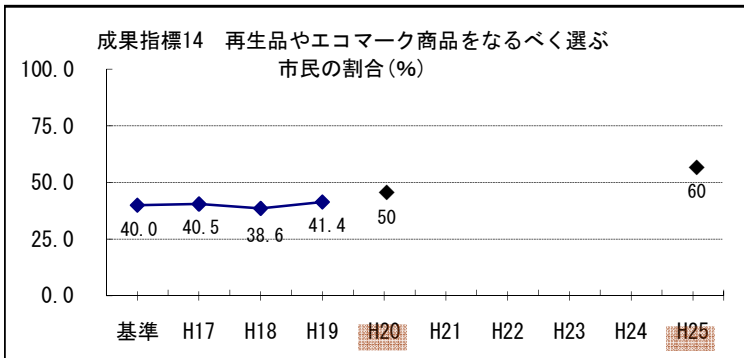


主な事業
 ごみ指定袋制
 集積場所での資源回収
 EM処理剤の無料配布
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 市民一人当たりのごみ排出量は、平成16年度に資源用袋の枚数増(30枚→50枚)により654gから621gまで減少したが、18年度は転居増等に伴う引越しごみの一時的増加等により638gへ増加し、19年度は引越しごみの減少に伴い623gへ少し減少したが、成果指標の達成は順調ではない。

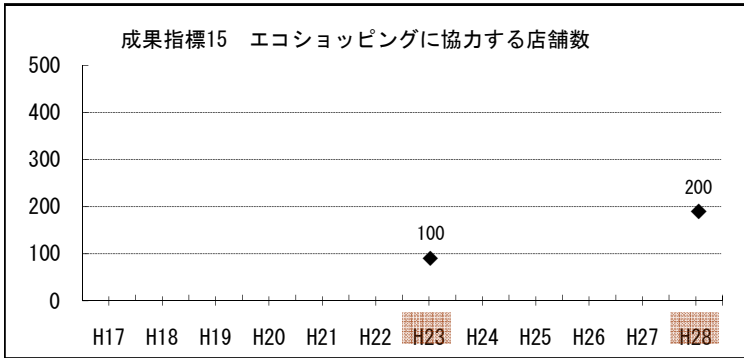


主な事業
 リサイクルフェア
 資源集団回収
 分別収集事業
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 再生品やエコマーク商品をなるべく選ぶ人の割合は、基準値(統計誤差の範囲内)を上下しているので順調でない。これは、若年層及び学生の割合が少ないため、再生品やエコマーク商品に対する意識が希薄なため伸び悩んでいると思われる。



主な事業

計画通りに成果が上がっているか

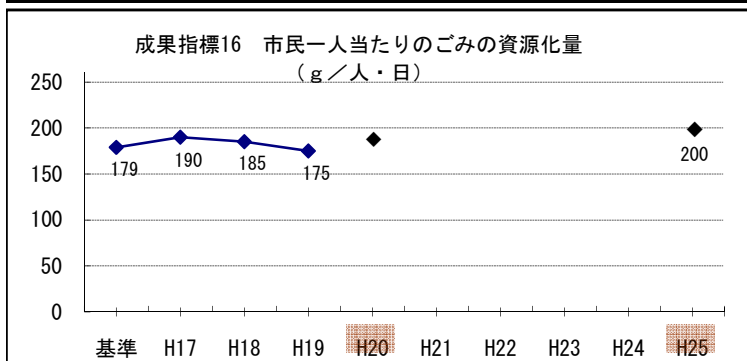
目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 今回は、エコショッピングの定義を調査・研究中のため数値化していません。
 案・・・レジ袋削減の取り組みのうち、有料化する店舗数等

成果が向上する余地(可能性)は? 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針
 市広報、「ごみと資源の出し方」冊子、ごみ排出日カレンダー、ホームページ、資源集団回収回覧の活用等による啓発を実施し、併せて減量啓発を推進していく。

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分

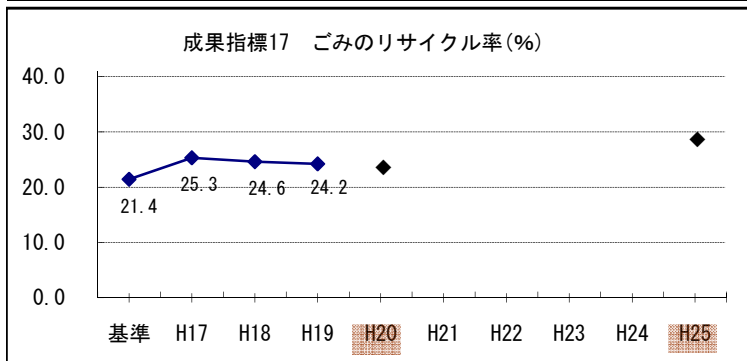


主な事業
 リサイクル情報事業
 フリーマーケットの開催
 リサイクルフェア開催

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 市民一人当たりのごみの資源化量は、17年度までは順調に成果は上がっていたが、19年度は前年に比べ、市民1人一日当たりのごみの資源化量は10グラムの減となった。これは資源集団回収事業において、約368tの減となったためであり、自主ルート(市内に古紙問屋の開設・新聞の専売店回収等)への移行による影響が大きいと思われる順調でない。

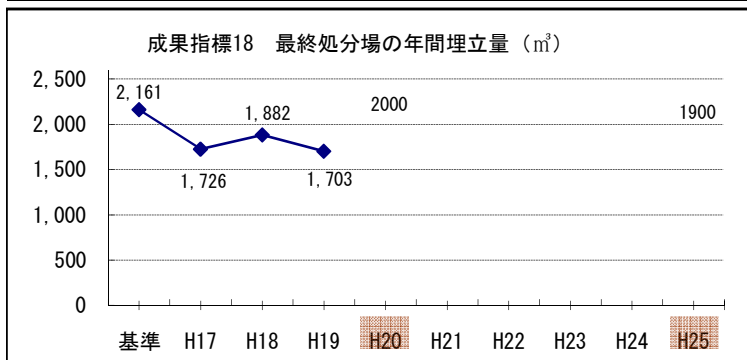


主な事業
 リサイクル情報事業
 フリーマーケットの開催
 リサイクルフェア開催

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 分別収集会場(常設)・ごみ集積場所の資源回収の回収量は、増加したが、資源集団回収事業は、約368tの減となり、資源回収総量は減少している。また、家庭系のごみ量は前年に比べて減少したが、資源回収総量の減少が大きく、ごみのリサイクル率は、19年度は前年に比べやや低くなり順調でない。



主な事業
 清掃工場・最終処分場の適切な維持管理
 広域ごみ処理場の整備推進

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 最終処分場の年間埋立量は、コンクリート・陶磁器類等の搬入量制限や清掃センター以外でのリサイクル等処理を実施し、17年度には1,726.1m³まで減少したが、18年度は1,882m³に増加し、転居増等に伴う引越しごみの一時的増加によると思われる、19年度は、引越しごみの減少に伴い1,703m³に減少し、成果指標の達成は順調である。

成果が向上する余地(可能性)は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

今後啓発事業により市民の資源に対する意識を高め、ごみの減量を図り資源回収量の増加を目指す。事業者に対しては、資源の自主回収への取り組みの推進、市民に対しては、資源の分別等の啓発をさらに実施。資源回収施設整備等充実を図る。また、一般廃棄物処理施設整備基金を活用し、清掃工場の延命化を図る大規模修繕を実施し、22年、県公社最終処分場竣工により延命化のため、持込みの協議を推進する。